

明治安田生命 新社会人アンケート調査を実施！
2006年春 新社会人に聞きました
理想の上司（男性）は、「古田敦也」さん！
理想の上司（女性）は、「黒木瞳」さん、「山口智子」さんが同票で1位！

明治安田生命保険相互会社（社長 松尾 憲治）は、「新社会人を対象としたアンケート調査」を実施しましたので、ご報告します。

■**新入社員の「期待」は、社会に出ることによる“成長”と“自立”。**

一方「不安」は「適性」、「コミュニケーション」、「配属先」。

- 「期待」のトップ3は、『仕事を通じた自己成長』、『経済的な自立』、『たくさんの人との出会い』。“社会へ出ることの意義”として“成長”と“自立”を意識しつつも、公私ともに広がる“出会い”に期待大。
- 「不安」のトップ3は、『仕事に対する自分の適性』、『先輩や上司とのコミュニケーション』、『配属先・職務内容』。『適性』、『コミュニケーション』に対する不安は男性よりも女性で募る傾向。
(詳細は4・5ページ参照)

■**将来展望は、女性は「安定」志向、男性は「起業」と「安定」の2極化。**

将来の自分への期待は高く、10年後の人生の自己評価は82点に！

- 将来展望については、女性では「会社」へ帰属意識が強まる一方、男性では、『いずれは起業・独立したい』と『同じ会社に勤めたい』が拮抗、二極化の傾向あり。
- これまでの人生の自己評価の平均点は68点。今後10年の予想点数の平均点は82点と14点アップ。男性の現在の自己評価は辛口だが、将来への期待は高い？
(詳細は6～8ページ参照)

■**初任給の使い道は「両親へのプレゼント」がトップ。男女ともに6割以上がプレゼントを計画中国！ 資産運用の考え方は、投資リスク意識に男女差が顕在。**

- 初任給は『両親へのプレゼント』に一番お金をかけたい、という新入社員が男女ともに6割超！
- 資産運用の考え方は男女差が顕在。女性は『預金・貯金など、元本保証を基本にコツコツ蓄えていく』タイプが約9割。一方男性では『ハイリスク・ハイリターンの運用にも果敢にチャレンジしていく』タイプが約3割。
(詳細は9・10ページ参照)

■**理想の上司は「古田敦也」さん、「黒木瞳」さん、「山口智子」さん**

- 理想の男性上司の1位は、プレーイングマネージャー（選手兼監督）になった「古田敦也」さん。昨年2位から大きく人気を伸ばして、“知性”と“指導力がある”イメージでトップに。第2位には、同じくプロ野球界から昨年までトップだった「星野仙一」さん。“指導力があり”“熱血漢”のイメージは健在。
- 一方、理想の女性上司は、「黒木瞳」さん、「山口智子」さんが同票でトップ。「黒木瞳」さんは4年連続の1位。引き続き、“知性的で”“スマート”“落ち着きのある”といった大人の女性のイメージが根強い人気要因。「山口智子」さんは、“親しみやすく”“明るく”バランスのとれたイメージが魅力。惜しくも、僅差で「久本雅美」さんが3位に！
(詳細は11～13ページ参照)

対象者の属性

1. 調査対象

今春就職を予定している男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2006年2月13日 ～ 3月12日

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

283人

6. 回答者の内訳

(1) 回答者の性別(人)

男性	女性
174	109

(2) 回答者の年齢(人)

平均年齢 22.7 歳

21 歳	22 歳	23 歳	24 歳	25 歳以上
11	153	64	39	16

【目次】

- 1. 社会に出ることへの「期待」** (4)
男女ともに大人としての“成長”と“自立”を期待！ 女性は“出会い”への期待も大！
- 2. 社会へ出ることへの「不安」** (5)
「不安」トップ3は「適性」、「コミュニケーション」、「配属先」。
女性の6割は「仕事への適性」に不安いっぱい！
男性は「朝寝坊」や「マナー・言葉遣い」も心配？
- 3. 新人たちの「仕事観」**
- (1)社会人としての仕事とは** (6)
仕事とは「自己実現の手段」であり、「お金を得る手段」！
男性は「試練の場」、女性は「出会いの場」が3位に。
- (2)将来展望とライフスタイル** (7)
女性は「安定」志向、男性は「起業」と「安定」の2極化。
「仕事と趣味の両立」を図る新人は約9割。
- 4. 新人たちの自己評価～現在と今後10年の自己評価～** (8)
現在の人生の自己評価は68点。しかし10年後の予想は82点に。
男性の自己評価は辛口だが、将来への期待は高い？
- 5. 新人たちのお金に関する意識**
- (1)初任給の使い道** (9)
初任給の使い道は「両親へのプレゼント」がトップ。
男女ともに6割以上がプレゼントを計画中。平均予算は2.7万円！
- (2)資産運用** (10)
投資リスク意識には男女差が顕在。
女性は「安全・堅実な貯蓄派」が約9割。男性は「リスク許容派」も約3割。
- 6. 「理想の上司像」と「そのイメージ」**
- (1)男性上司** (11)
理想の男性上司はプロ野球選手&監督の「古田敦也」さん。
人気独占の理由は「実力・指導力」＋「知的なイメージ」兼備。
- (2)女性上司** (12)
理想の女性上司は「黒木瞳」さん、「山口智子」さんが同票で1位。
僅差で「久本雅美」さんが第3位。
- 7. 新人たちがめざす「社会人像」** (13)
めざす社会人像は、男性は結果を残す「ヤンキース松井秀喜」タイプ。
女性はマルチタレント派の「マリア・シャラポワ」タイプ。

1. 社会へ出ることへの「期待」＜男女別の結果＞

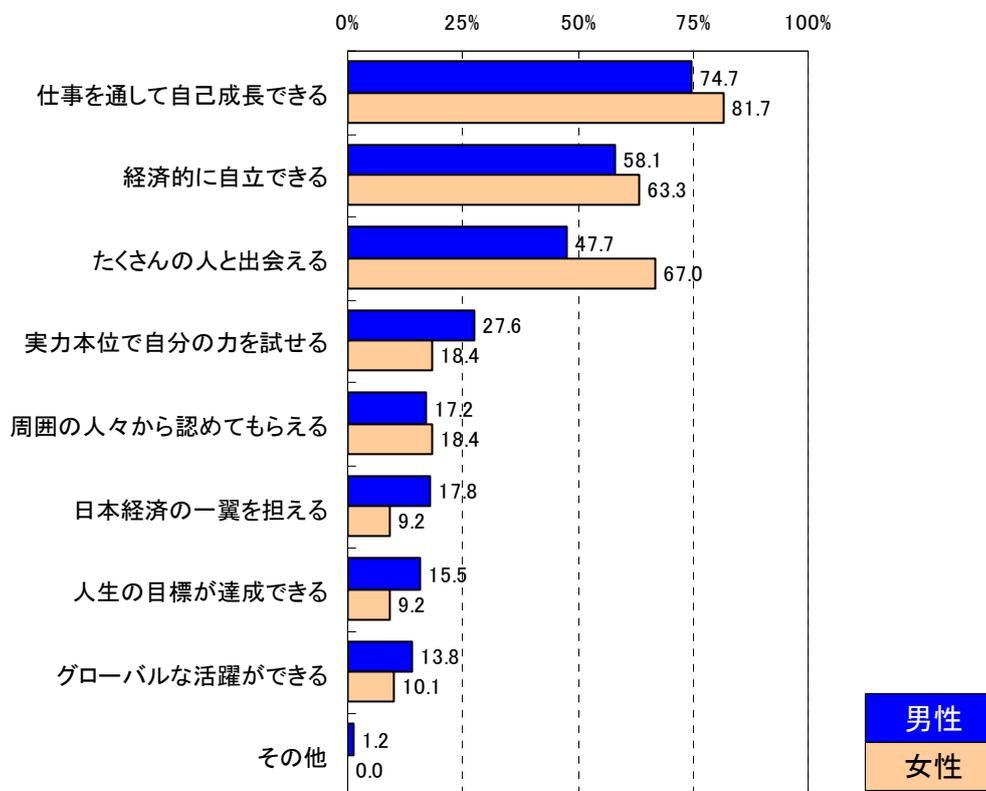
男女ともに大人としての“成長”と“自立”を期待！ 女性は“出会い”への期待も大！

入社式を間近にひかえ、社会人としての新しい門出を前に、2006年春、就職を予定している新社会人（以下、新入社員）は、さまざまな「期待」と「不安」を胸に抱いていることでしょう。そこでまずは、社会へ出ることへの「期待」と「不安」について聞いてみました。

まず、「期待」のトップ3は、男女共通で『仕事を通じた自己成長』、『経済的な自立』、『たくさんの人との出会い』となりました。男女とも、『仕事を通じた自己成長』は7割以上、『経済的な自立』は半数以上が、これらの項目をあげていることから、性別を問わず、社会に出ることによる大人としての“成長”と“自立”に「期待」が大きくなっているようです。

また、女性の「期待」では『たくさんの人との出会い』が2番目となっており、“出会い”に対する期待の高さがうかがえます。男性も3番目にこの項目をあげており、新入社員は、“社会に出ることの意義”として“成長”と“自立”を意識しつつ、公私ともに広がる“出会い”に胸を膨らませているようです。

Q. 社会に出ることへの「期待」は？（複数回答）



2. 社会に出ることへの「不安」＜男女別の結果＞

**「不安」トップ3は「適性」、「コミュニケーション」、「配属先」。
女性の6割は「仕事への適性」に不安いっぱい！
男性は「朝寝坊」や「マナー・言葉遣い」も心配？**

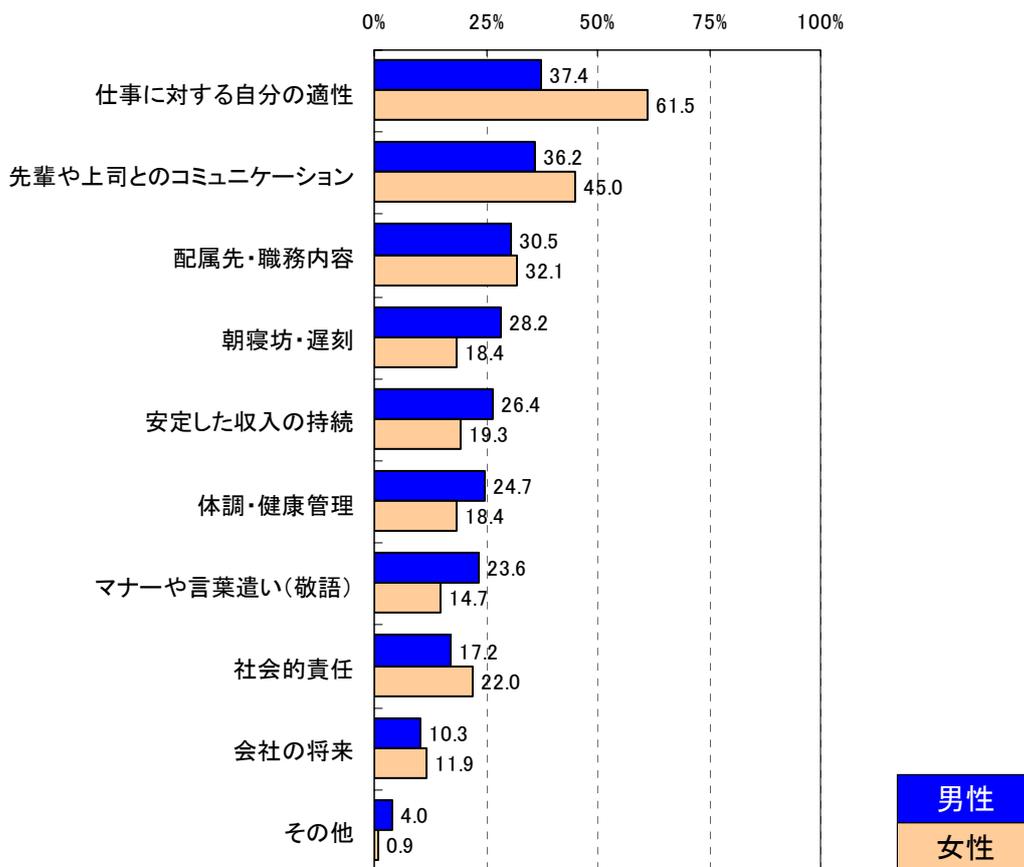
「期待」に続いて、「不安」についても聞いてみました。

社会に出ることの「不安」は、男女ともにトップ3は共通で、『仕事に対する自分の適性』、『先輩や上司とのコミュニケーション』、『配属先・職務内容』となりました。

女性では、6割以上が『仕事への適性』に不安を抱えています。また、『先輩や上司とのコミュニケーション』についても4割以上が不安を抱いており、『適性』、『コミュニケーション』に対する不安は男性よりも女性の方が感じるようです。

一方、男性では、『朝寝坊・遅刻』、『体調・健康管理』、『マナーや言葉遣い』と言った日常生活に関する不安感で女性を上回っています。男性の場合、まずは毎朝、きちんと起きられるかどうか心配なようです。

Q. 社会に出ることへの「不安」は？(複数回答)



3. 新人たちの仕事観 <男女別の結果>

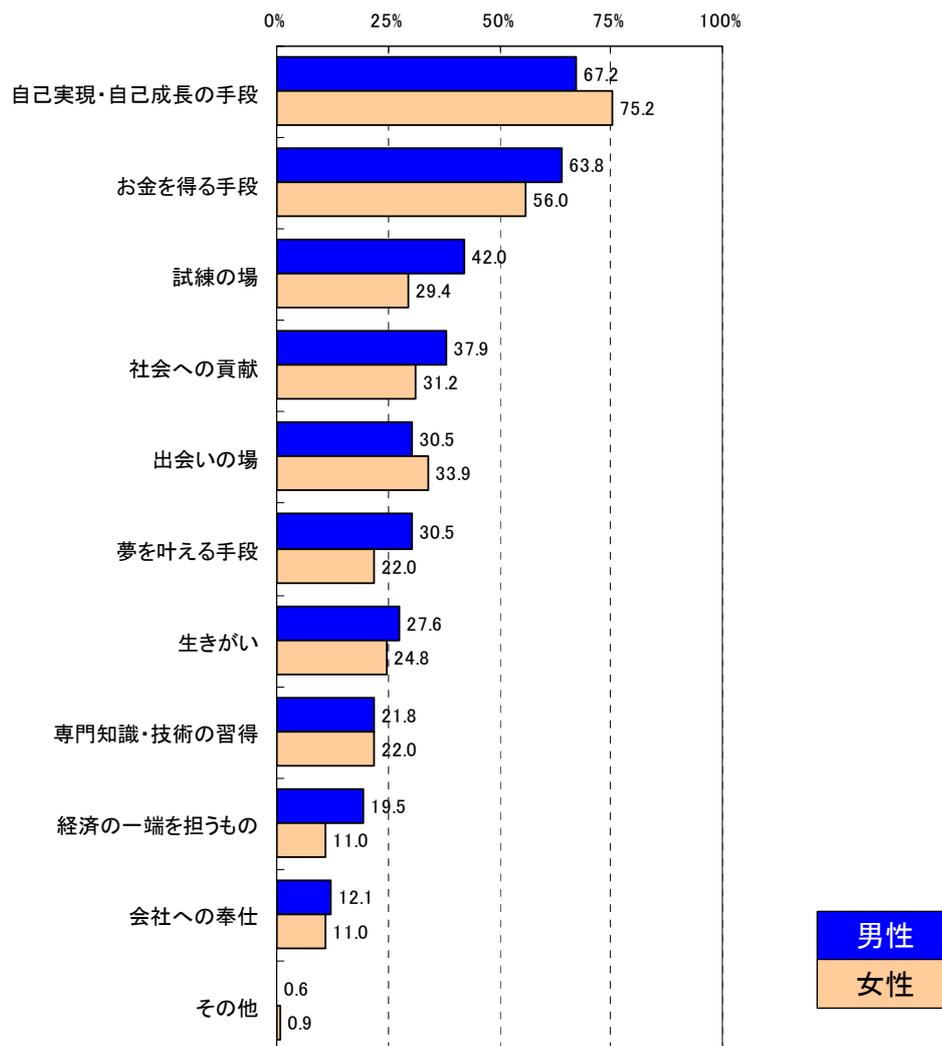
(1) 社会人としての仕事とは？

**仕事とは「自己実現の手段」であり、「お金を得る手段」！
男性は「試練の場」、女性は「出会いの場」が3位に。**

新入社員にとっての仕事とは、『自己実現・自己成長の手段』、『お金を得る手段』がトップ2となっています。また、現実的な観点だけではなく、『試練の場』（3位）、『社会貢献』（4位）、とさまざまな観点で仕事を捉えている様相もうかがえます。

男性では『試練の場』（3位）と捉える傾向が女性よりも強いのが特徴のようです。一方、女性では4人に3人が『自己実現・自己成長』をあげており、自己実現への真摯な姿勢がうかがえるとともに、『出会いの場』（3位）と考える人が多いのも特徴です。

Q. あなたにとって、「(社会に出てからの)仕事」とは何ですか？(複数回答)



3. 新人たちの仕事観② <男女別の結果>

(2) 将来展望とライフスタイル

**女性は安定志向、男性は「起業」と「安定」の2極化。
「仕事と趣味の両立」を図る新人は約9割。**

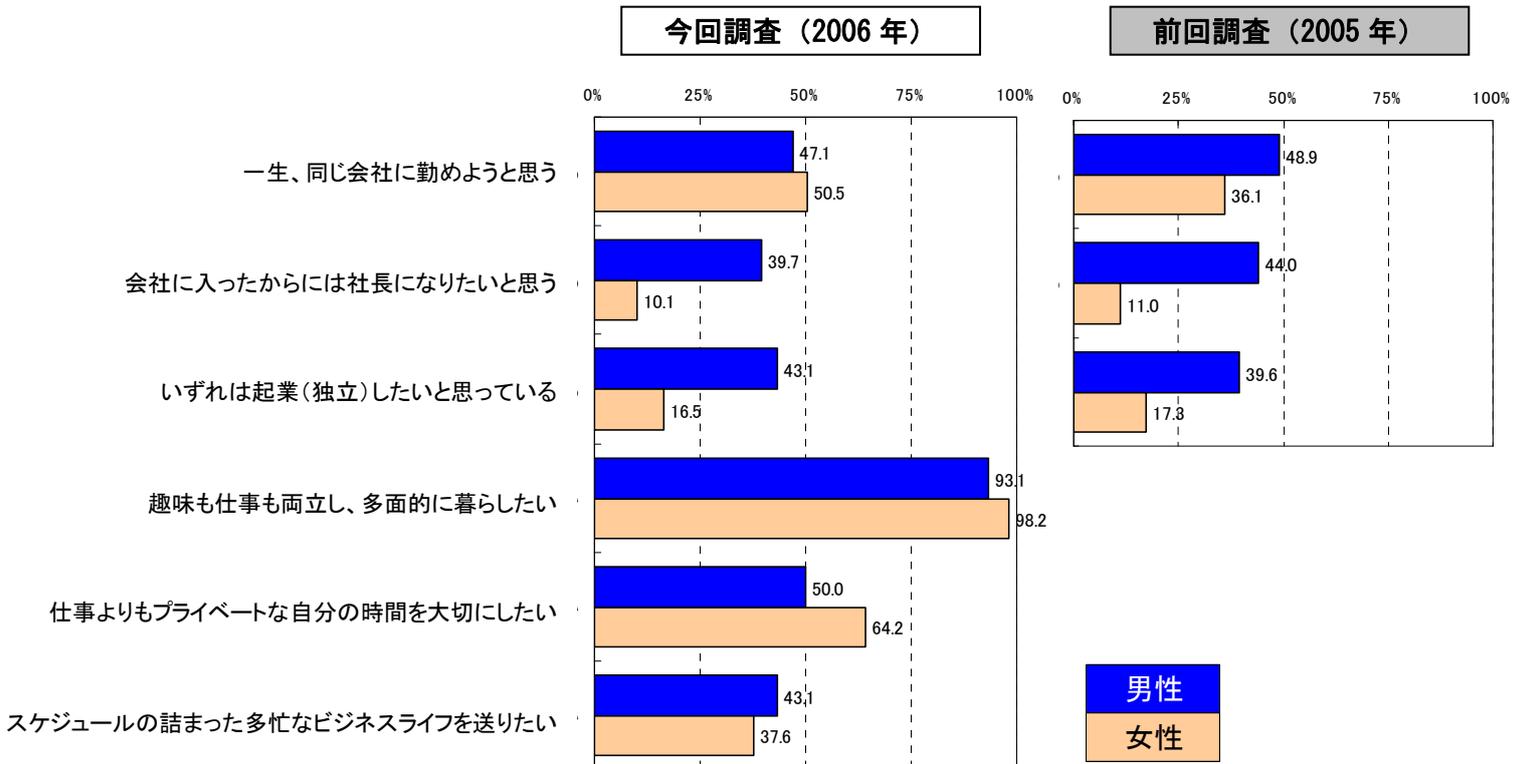
将来展望とライフスタイルについて聞いてみました。

『一生この会社に勤めようと思っている』は男女ともにYES/NOはほぼ同率ですが、昨年と比較すると女性では「会社」へ帰属意識が強まっています（36.1%→50.5%）。就職環境の好転が伝えられる昨今ですが、女性にとってはまだまだ厳しい環境なのでしょう、苦勞して入った会社でがんばろうという姿がうかがえます。

一方男性では、ヒルズ族活躍の影響があるのでしょうか『いずれは起業・独立したい』が昨年の39.6%から43.1%と起業・独立志向の人は増加しています。ただ、同じ会社でがんばる派も半数近くおり（47.1%）、起業・独立志向との2極化の傾向が見られます。

『趣味も仕事も両立し、多面的に暮らしたい』は男女とも9割以上がYESで、新社会人のバランスのとれたライフスタイル志向がうかがえます。

Q. 次の「仕事観」について、YES or NO? (グラフはYES率)



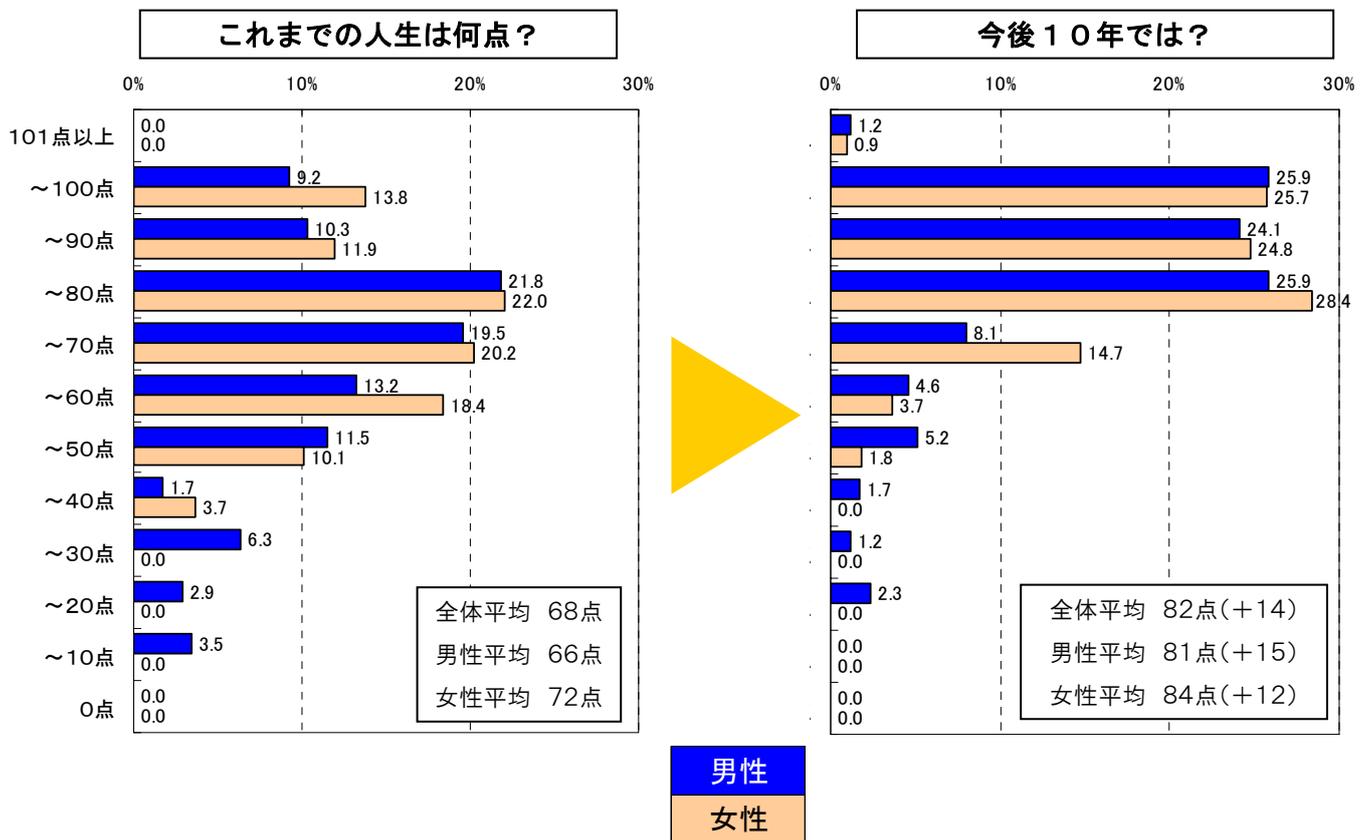
4. 新人たちの人生観～現在と今後10年の自己評価～ <男女別の結果>

**現在の人生自己評価は68点。しかし10年後の予想は82点に。
男性の自己評価は辛口だが、将来への期待は高い？**

これまでの20年前後の人生と今後10年の予想点数を付けていただきました。これまでの自己評価の平均点は68点。今後10年の予想点数の平均点は82点。14点アップとなりました。

これまでの人生評価に30点以下を付けた割合は女性ではゼロですが、男性では12.7%にも上り、男性は女性よりも辛口の得点をつける人が多くなっています。一方で、今後10年の伸び幅をみると男性は女性を上回っています。成長と自立を意識する新入社員ですが、男性の方が成長への期待感が高いのでしょうか、それとも学生時代は遊びすぎたと反省の意味も込めた自己採点でしょうか。

Q. これまでの人生は100点満点で何点？ また、この先10年の人生では何点になる？



5. 新人たちのお金に関する意識 <男女別の結果>

(1) 初任給の使い道

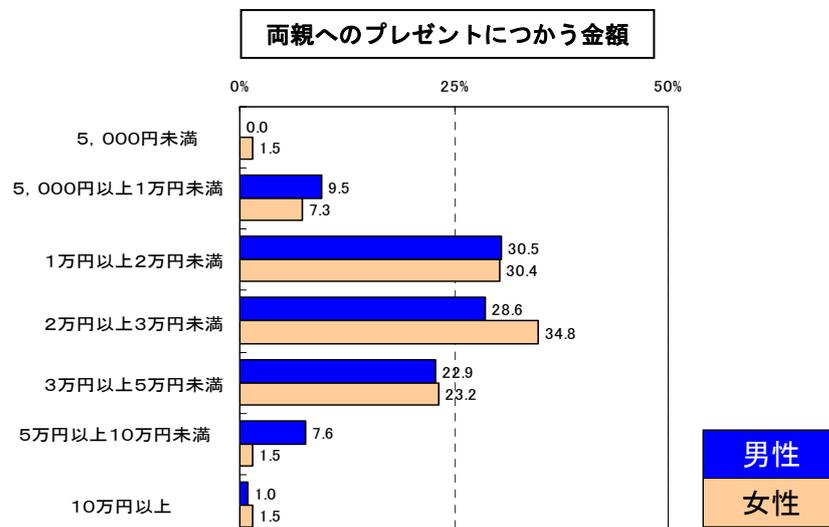
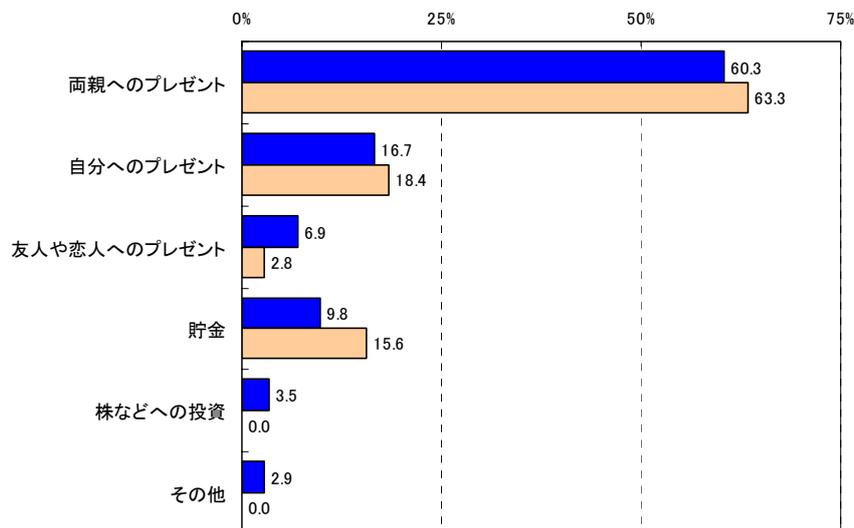
**初任給の使い道は「両親へのプレゼント」がトップ。
男女ともに6割以上がプレゼントを計画中。平均予算は2.7万円！**

いよいよ社会人仲間入りを果たす新入社員に、初任給の使い道を聞いてみました。

初任給は『両親へのプレゼント』に一番お金をかけたい、という新入社員が男女ともに6割を超えています。平均予算は2.7万円。今も昔も変わらぬ親への感謝の気持ち、ちょっとほっとしますね。

男女別の結果では、男性よりも女性で『貯金』と回答した割合が高く、『株などの投資』も女性はゼロと、女性の手堅さを垣間見ることができます。

Q. 初任給の使い道の中で、一番お金をかけたいと思うものは？



5. 新人たちのお金に関する意識 <男女別の結果>

(2) 資産運用

**投資リスク意識には男女差が顕在。
女性は「安全・堅実な貯蓄派」が約9割。
男性は「リスク許容派」も約3割。**

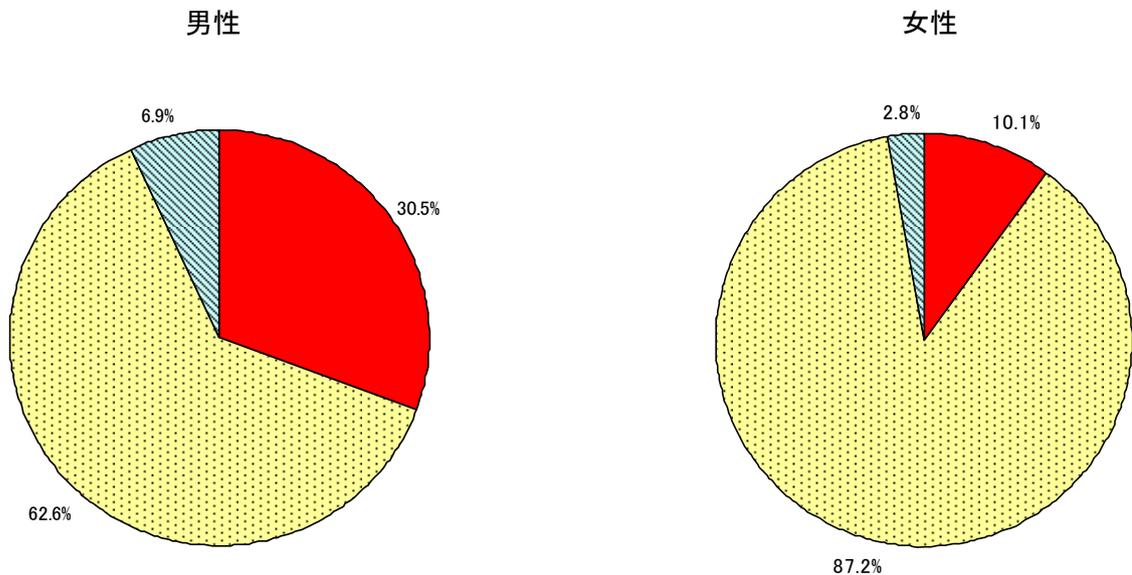
新入社員のお金に関する意識調査をもう一つ。資産運用に関する考え方を聞いてみました。

男女ともに『預金・貯金など、元本保証を基本にコツコツ蓄えていくタイプ』が最も多くなっています。とくに女性ではこのタイプが9割近くを占めて圧倒的多数派となっています。

一方男性では『ハイリスク・ハイリターンへの運用にも果敢にチャレンジしていくタイプ』と判断する人も3割おり、投資リスク意識には男女差が顕著に表れていると言えるようです。

Q. あなたの資産運用方法は？

- ハイリスク・ハイリターンへの運用にも果敢にチャレンジしていくタイプ
- 預金・貯金など、元本保証を基本にコツコツ蓄えていくタイプ
- 一攫千金、宝くじで夢を買いつづけるタイプ



6. 「理想の上司像」と「そのイメージ」＜全体の結果＞

(1) 男性上司

**理想の男性上司はプロ野球選手&監督の「古田敦也」さん。
人気独占の理由は「実力・指導力」+「知的なイメージ」兼備。**

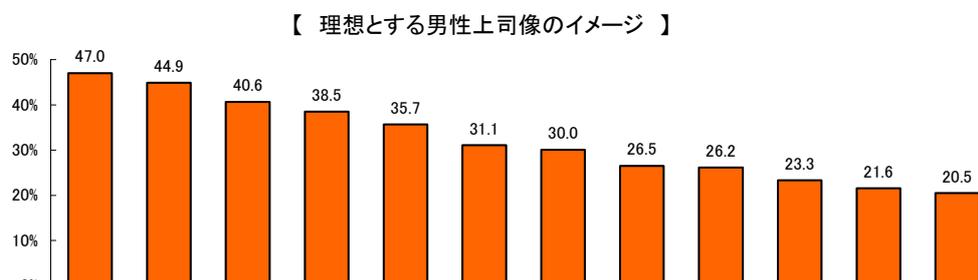
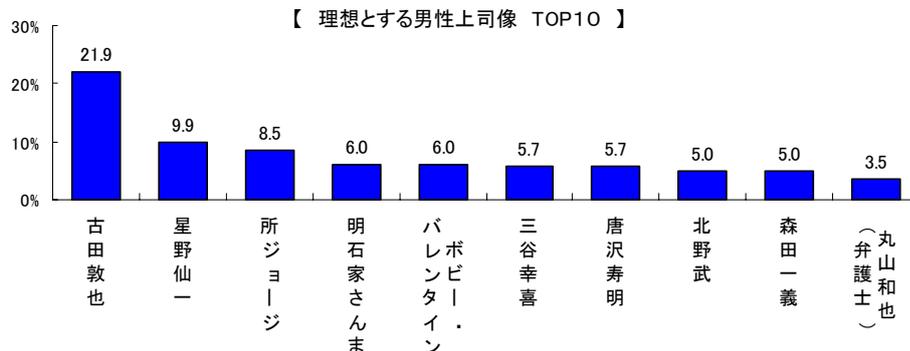
今年も恒例の『理想の上司』について聞いてみました。

理想の男性上司像のトップは、プレーイングマネージャー（選手兼監督）になった「古田敦也」さんとなりました。昨年2位から大きく人気を伸ばして、“知性”と“指導力がある”イメージでトップになっています。昨年は、選手会委員長として、仲間の代表として、経営陣と対峙し、今年はプレーイングマネージャーとして選手を引っ張っている、そんな姿に理想の上司を重ねているのでしょう。

第2位には、同じくプロ野球界から昨年までトップだった「星野仙一」さん。“指導力があり”“熱血漢”のイメージは健在です。

3位以下は昨年と同様、「所ジョージ」さん、「明石家さんま」さんと続いています。2人とも“親しみやすく”“おもしろい”イメージが魅力になっています。同票4位には昨年ロッテを日本一に導いたプロ野球監督の「ボビー・バレンタイン」さんが初登場。“明るく”“指導力がある”イメージが好印象のようです。

Q. 理想とする「男性上司像」は？ またそのイメージは？



	調査数	実力のある	指導力のある	親しみやすい	頼もしい	知的な	おもしろい	落ち着いた	明るい	スマートな	天才肌の	優しい	熱血な
全体	283	47.0	44.9	40.6	38.5	35.7	31.1	30.0	26.5	26.2	23.3	21.6	20.5
古田敦也	62	53.2	62.9	38.7	48.4	61.3	16.1	50.0	16.1	33.9	8.1	17.7	17.7
星野仙一	28	42.9	75.0	21.4	46.4	21.4	3.6	17.9	10.7	10.7	7.1	17.9	60.7
所ジョージ	24	45.8	16.7	75.0	16.7	33.3	62.5	12.5	58.3	25.0	29.2	29.2	0.0
明石家さんま	17	41.2	17.7	70.6	23.5	5.9	58.8	0.0	35.3	11.8	41.2	29.4	5.9
ボビー・バレンタイン	17	58.8	88.2	70.6	35.3	23.5	41.2	11.8	82.4	29.4	23.5	35.3	52.9
三谷幸喜	16	43.8	12.5	25.0	6.3	37.5	43.8	6.3	37.5	18.8	62.5	12.5	12.5
唐沢寿明	16	56.3	37.5	43.8	43.8	12.5	62.5	31.3	56.3	50.0	12.5	37.5	12.5
北野武	14	28.6	28.6	21.4	35.7	35.7	64.3	42.9	7.1	21.4	64.3	7.1	14.3
森田一義	14	28.6	7.1	28.6	21.4	57.1	42.9	35.7	21.4	14.3	28.6	14.3	0.0
丸山和也(弁護士)	10	20.0	50.0	90.0	40.0	0.0	30.0	0.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0

6. 「理想の上司像」と「そのイメージ」＜全体の結果＞

(2) 女性上司

**理想の女性上司は、「黒木瞳」さん、「山口智子」さんが同票で1位。
僅差で「久本雅美」さんが第3位。**

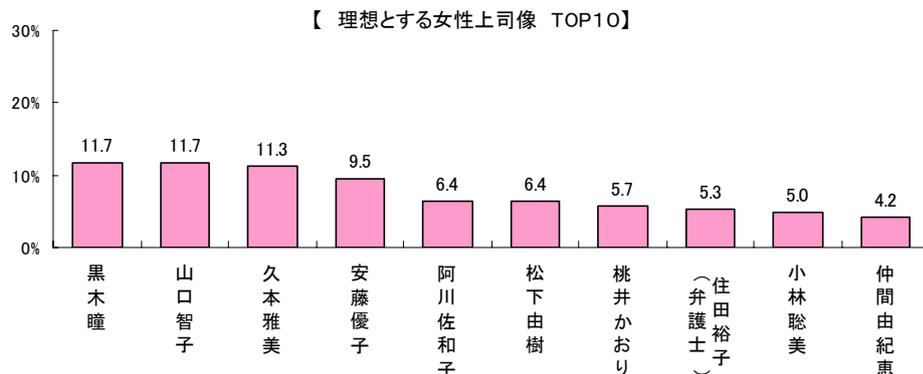
理想の女性上司像は、「黒木瞳」さん、「山口智子」さんが同票でトップ。「黒木瞳」さんは4年連続の1位となりました。引き続き、“知性的で”“スマート”“落ち着いたある”といった大人の女性のイメージが根強い人気の要因のようです。

「山口智子」さんは、“親しみやすく”“明るく”バランスのとれたイメージが魅力になっています。さらに、僅差の3位は、昨年2位の「久本雅美」さん。“親しみやすく”“おもしろい”“明るい”など親近感のあるイメージを多く獲得しています。「久本雅美」さんと「黒木瞳」さんは“優しい”イメージでの共通点がありますが、その他の多くの項目は対極的なポイントを獲得しています。

4位以下では“知性的”な「安藤優子」さん、“親しみやすく”“知的”な「阿川佐和子」さん、“頼もしさ”の「松下由樹」さんで人気が高くなっています。

今年の新入社員の間では、“知的”で“落ち着いたある”タイプ、“親しみやすい”タイプの女性上司が人気のようです。

Q. 理想とする「女性上司像」は？ またそのイメージは？



【 理想とする女性上司像のイメージ 】

調査数	落ち着いたある	知性的な	親しみやすい	実力のある	スマートな	優しい	明るい	頼もしい	指導力のある	おもしろい	天才肌の	熱血な	
全体	283	42.1	42.1	40.3	35.3	33.2	30.0	30.0	28.6	24.4	21.6	12.0	8.8
黒木瞳	33	57.6	66.7	21.2	30.3	60.6	45.5	6.1	12.1	24.2	3.0	3.0	3.0
山口智子	33	30.3	30.3	48.5	33.3	33.3	30.3	45.5	21.2	6.1	12.1	3.0	3.0
久本雅美	32	3.1	9.4	75.0	25.0	6.3	46.9	46.9	34.4	25.0	59.4	6.3	18.8
安藤優子	27	66.7	77.8	18.5	59.3	51.9	14.8	7.4	29.6	37.0	0.0	14.8	3.7
阿川佐和子	18	55.6	55.6	77.8	27.8	55.6	33.3	44.4	22.2	27.8	16.7	11.1	5.6
松下由樹	18	44.4	27.8	27.8	33.3	16.7	27.8	27.8	50.0	33.3	16.7	0.0	11.1
桃井かおり	16	43.8	31.3	31.3	50.0	43.8	6.3	25.0	18.8	18.8	37.5	56.3	6.3
住田裕子(弁護士)	15	60.0	40.0	40.0	26.7	13.3	33.3	13.3	26.7	13.3	0.0	6.7	0.0
小林聡美	14	35.7	50.0	78.6	28.6	21.4	14.3	50.0	21.4	21.4	57.1	7.1	0.0
仲間由紀恵	12	58.3	33.3	41.7	25.0	16.7	41.7	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0

7. 新人たちがめざす「社会人像」

**めざす社会人像は、男性は結果を残す「ヤンキース松井秀喜」タイプ。
女性はマルチタレント派の「マリア・シャラポワ」タイプ。**

今年の新人たちがめざす「社会人像」を、スポーツ選手に例えて選んでもらったところ、“協調性豊かなだけでなく、自分の努力で、求められた結果を残す”「松井秀喜／宮里藍」タイプがトップとなりました。

第2位には“自分の領域を広げ、本職以外でも才能を発揮する”マルチタレント派の「デビット・ベッカム／マリア・シャラポワ」タイプが選ばれており、とくに女性ではトップの支持を得ています。

意外にも、“完璧主義者”のイチロー／アニカ・ソレンスタムタイプが伸びませんでした。調査期間が3月12日までですので、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の盛り上がりの後の調査だったら結果はどうなったのでしょうか。

Q. あなたがめざす「社会人像」をスポーツ選手で例えると？

